

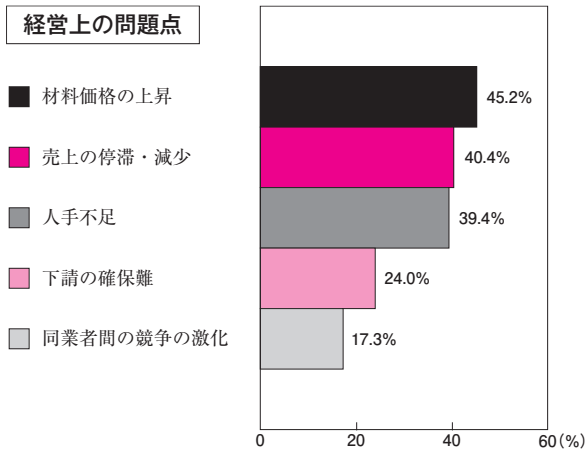
業況は横ばい、来期も横ばいの見通し

前期	今期	見通し
		

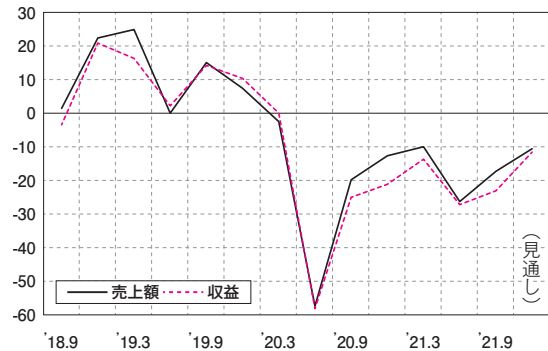
売上額D Iは▲17.3、収益D Iは▲23.1でともにやや改善しました。資金繰りD Iは▲8.6で大幅に悪化しました。価格は材料価格D Iが50.0でやや上昇、請負価格D Iは▲10.6でほぼ横ばいでした。

来期は、売上額D I、収益D Iともにやや改善の見通しです。価格は材料価格D I、請負価格D Iともにやや上昇の見通しです。業況D Iは▲17.4で横ばい、来期も横ばいの見通しです。

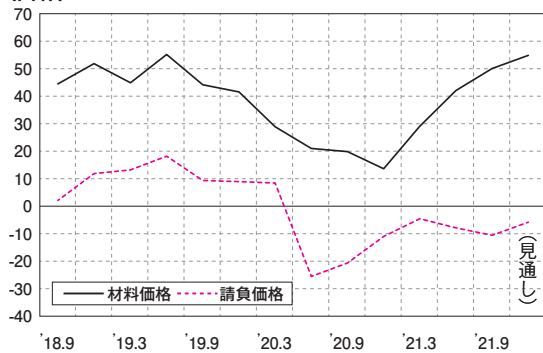
経営上の問題点



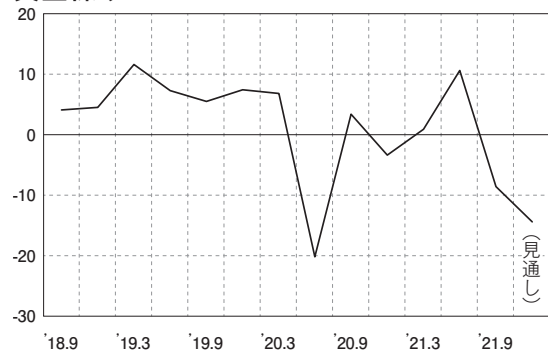
売上額・収益D I (前期比)



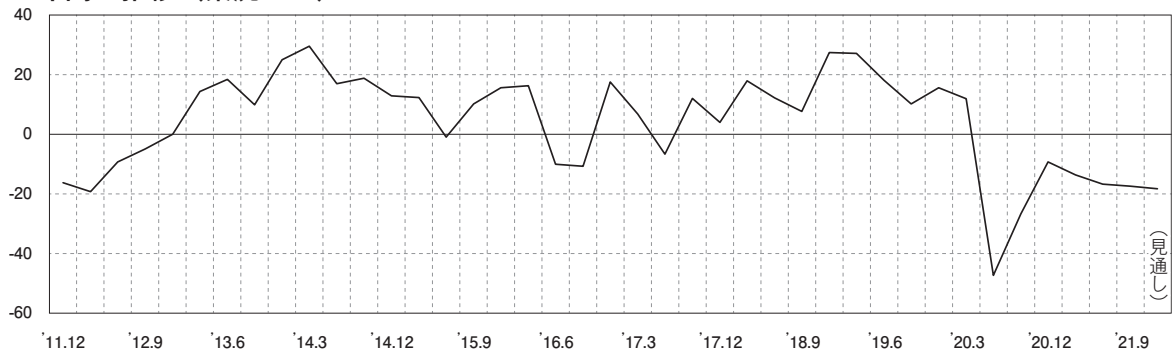
価格D I



資金繰りD I



10年間の推移 (業況D I)



お客様の声

・コロナ終結が不明な為、民間の投資、公共事業の先行きが不明な為、その動向を見極めている状況である。
(尼崎市 総合建設業)

・業界全体に国は改革を進めているが(働き方改革、キャリアアップシステム・インボイス制度等色々押し進めてくる)それに伴う入札単価が改善されていない。
(宝塚市 建築業)